

「食と健康」に関するシンポジウムの開催

【支援金確定額：90,005円 支援率：42.58%】

記入日：平成26年3月18日

■どのような活動をしている団体ですか？

船橋地域における福祉・介護・医療サービスの充実のためには、現在のシステムでは不十分であり、新たな構築が必要です。そのためには、医師・看護師等の専門職の枠組みを超え、サービスを受ける側の意思が反映されるよう、地域住民をも含めた新たな連携関係が重要です。専門職がそれぞれの仕事を通じて得た知識と経験を有効に活用し、新しいサービスシステムを創出し、一般に普及することを目的としています。

平成25年3月現在で、会員数は約60人です。本機構の理念を実現するため、講演会・シンポジウムの開催、そして、連携を行うためのシステム作りを継続的に行っています。



会場風景－1

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

今年度は「食と健康」に関する公開シンポジウムを2回にわたって開催しました。生活習慣病防止を目的としたシンポジウムであり、1回目は「低塩分食」（平成25年9月29日）というテーマで、2回目は「低カロリー食」（平成25年10月27日）というテーマで行いました。今回は市内のレストランと提携し、実際に参加者に食事をしてもらいました。これら2回のシンポジウム開催のための費用の一部として支援金を活用しました。



会場風景－2

■3年目となる事業提案型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか。

過去4年間に渡り「食」をテーマの中心に据えてシンポジウムを開催してきました。1年目は事業立上型として「介護における食」というタイトルでシンポジウムを行い好評でした。2年目以降、3年間は事業提案型として支援を受けました。提案型1年目は「アンチエイジングにおける食の役割」と、乳幼児の家族向けの「食物アレルギーの現状とその解消への提案」について、2年目は「認知症と食について」、「認知症と成年後見制度」を主題としてシンポジウムを開催しました。それぞれのテーマに関し、現状と問題点を抽出し、それぞれの日常生活の「食」の在り方等の改善方法の指導・助言を行いました。

3年目である今年度は「食と健康に関するシンポジウム」を主題に掲げ、従来の講演・討論スタイルから一歩進めて、参加者に実際に体験してもらう形式で開催しました。シンポジウム1回目は「低塩分食」、2回目は「低カロリー食」のレシピを市内のレストランと共同で開発し、参加者全員に食してもらい、家庭における健康な食生活の実践について指導・助言を行いました。参加者は実際に味わってみることで、家庭でもヘルシー食を美味しく作れることがわかり、有意義だったとのことでした。

■今後の活動の抱負について

平成26年度は従来の「食」から主眼を広げ、船橋市市民公益活動公募型支援事業の平成26年度実施事業として採択された「船橋地域福祉相談会」を複数回開催します。その他、独自の事業として「在宅における看取りのシンポジウム（仮称）」（公益財団法人勇美記念財団の助成による）、歯科医療公開講座、「正しいくすりの飲み方について（仮題）」の公開講座、第3回パーキンソン病公開講座、第3回ふなばし福祉まつり in イオンモール船橋等を行う予定です。また、シンポジウムや公開講座を通じて会員数をふやし、地域住民を巻き込んだ福祉・介護・医療システムの構築を継続していきます。

■問い合わせ先：理事 鶴澤 龍一（うざわ りゅういち）

TEL：047-495-9559

E-mail:funabasi.fukusi.kikou@gmail.com